

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成23年8月12日
【四半期会計期間】	第119期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	サカイオーベックス株式会社
【英訳名】	SAKAI OVEX CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松木 伸太郎
【本店の所在の場所】	福井市花堂中2丁目15番1号
【電話番号】	福井 0776-36-5800（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 小出 誠
【最寄りの連絡場所】	福井市花堂中2丁目15番1号
【電話番号】	福井 0776-36-5800（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 小出 誠
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第118期 第1四半期連結 累計期間	第119期 第1四半期連結 累計期間	第118期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(千円)	4,639,775	5,011,014	19,303,634
経常利益(千円)	207,473	390,032	693,219
四半期(当期)純利益(千円)	134,547	343,174	573,448
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	63,353	357,020	349,910
純資産額(千円)	7,237,303	7,880,280	7,523,303
総資産額(千円)	18,280,152	19,010,089	19,010,562
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	2.08	5.32	8.88
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	39.4	41.3	39.4

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれていません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。
4. 第118期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しています。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、各セグメントに係る関係会社の異動は、次のとおりです。

< 染色加工事業 >

主な事業内容及び関係会社の異動はありません。

< 繊維販売事業 >

主な事業内容及び関係会社の異動はありません。

< その他の事業 >

主な事業内容に変更はありません。

株式会社サカイエルコム（連結子会社）は、同社の完全子会社である株式会社サカイ電子の全株式を平成23年4月1日付で譲渡しました。

株式会社サバエテックス（連結子会社）は、マルイテキスタイル株式会社（連結子会社）と平成23年4月1日付で合併し、解散しました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による甚大な被害と電力供給悪化の影響により、国内生産の停滞と輸出の減少を招き、消費マインドの更なる冷え込みにより個人消費も低迷するなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような経営環境の中、当社グループの当第1四半期の業況は、主力の染色加工事業及び繊維販売事業が増収となったことに加え、原価低減活動の徹底と固定費削減の継続により増益となりました。

当第1四半期の当社グループの売上高は5,011百万円と前年同期比371百万円(8.0%)の増収となり、営業利益は345百万円と前年同期比147百万円(74.1%)の増益、経常利益は390百万円と前年同期比182百万円(88.0%)の増益、四半期純利益は343百万円と前年同期比208百万円(155.1%)の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

(染色加工事業)

当事業では、東日本大震災の影響による生産調整等により自動車関連資材用途が減少しましたが、機能性加工を付与したユニフォーム用途やスポーツ用途、及び医療資材用途が堅調に推移しました。また、工場の生産性向上を進めることで、原材料費やエネルギー費用等の原価低減を図りました。

当事業の売上高は3,027百万円と前年同期比118百万円(4.1%)の増収となり、営業利益は188百万円と前年同期比54百万円(40.3%)の増益となりました。

(繊維販売事業)

当事業では、医療資材事業は貼付剤用支持体が伸張し、テキスタイル事業はユニフォーム用途やスポーツ用途の拡販が進み、アパレル事業においても震災前受注品の納品等により微増収を確保するとともに、物流経費等の削減に努めた結果、増益となりました。

当事業の売上高は1,324百万円と前年同期比289百万円(28.0%)の増収となり、営業利益は124百万円と前年同期比78百万円(173.8%)の増益となりました。

(その他の事業)

その他の事業のうち、電子機器事業は自動制御装置関連が、織布事業では高密度薄地織物が堅調に推移いたしました。

また、建設不動産事業及び水産資材事業は、公共工事案件の減少や価格競争の激化の環境下、業績は低迷を余儀なくされました。

その他の事業の売上高は659百万円と前年同期比36百万円(5.3%)の減収となり、営業利益は23百万円と前年同期比8百万円(61.0%)の増益となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、164百万円です。なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	224,000,000
計	224,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	68,362,587	68,362,587	(株)東京証券取引所 (第一部)	単元株式数 1,000株
計	68,362,587	68,362,587	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	-	68,362	-	4,655,044	-	1,536,986

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

平成23年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,822,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 64,356,000	64,356	-
単元未満株式	普通株式 184,587	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	68,362,587	-	-
総株主の議決権	-	64,356	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が6,000株含まれています。

また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数6個が含まれています。

【自己株式等】

平成23年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
サカイオーベックス株式会社	福井市花堂中二丁目15番1号	3,822,000	-	3,822,000	5.59
計	-	3,822,000	-	3,822,000	5.59

(注)1.上記の他、株主名簿上は当社名義となっていますが、実質的に所有していない株式が2,000株(議決権の数2個)あります。なお、当該株式数は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄に含まれています。

2.当第1四半期会計期間末の自己株式数は3,823千株です。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。）に基づいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	880,345	1,003,811
受取手形及び売掛金	3,461,109	3,398,120
有価証券	999	999
商品及び製品	648,703	634,013
仕掛品	530,234	537,821
原材料及び貯蔵品	257,692	279,875
その他	859,910	1,041,991
貸倒引当金	30,273	29,982
流動資産合計	6,608,722	6,866,651
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,297,809	3,254,776
機械装置及び運搬具(純額)	1,999,423	1,704,215
土地	2,665,076	2,665,076
リース資産(純額)	69,918	62,432
建設仮勘定	11,130	39,951
その他(純額)	74,998	70,801
有形固定資産合計	8,118,356	7,797,252
無形固定資産		
その他	64,333	63,289
無形固定資産合計	64,333	63,289
投資その他の資産		
出資金	2,026,765	2,120,601
その他	2,193,484	2,163,372
貸倒引当金	1,101	1,076
投資その他の資産合計	4,219,148	4,282,897
固定資産合計	12,401,839	12,143,438
資産合計	19,010,562	19,010,089

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,977,984	2,879,070
短期借入金	2,897,484	2,436,204
未払法人税等	133,522	15,705
賞与引当金	358,306	198,770
その他	669,964	916,575
流動負債合計	7,037,261	6,446,326
固定負債		
長期借入金	3,300,565	3,537,558
退職給付引当金	563,148	571,723
その他の引当金	6,580	6,580
資産除去債務	100,923	101,226
負ののれん	379	284
その他	478,401	466,111
固定負債合計	4,449,997	4,683,483
負債合計	11,487,258	11,129,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,655,044	4,655,044
資本剰余金	2,037,362	2,037,362
利益剰余金	1,747,602	2,090,777
自己株式	796,069	796,113
株主資本合計	7,643,940	7,987,071
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,918	30,982
繰延ヘッジ損益	515	11,706
為替換算調整勘定	220,866	164,008
その他の包括利益累計額合計	159,463	144,733
少数株主持分	38,827	37,942
純資産合計	7,523,303	7,880,280
負債純資産合計	19,010,562	19,010,089

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

【 四半期連結損益計算書 】

【 第 1 四半期連結累計期間 】

(単位 : 千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
売上高	4,639,775	5,011,014
売上原価	3,920,211	4,136,645
売上総利益	719,564	874,368
販売費及び一般管理費	520,918	528,546
営業利益	198,646	345,822
営業外収益		
受取利息	538	718
受取配当金	13,645	18,468
負ののれん償却額	461	94
持分法による投資利益	6,075	37,227
その他	22,757	20,060
営業外収益合計	43,478	76,570
営業外費用		
支払利息	28,632	26,232
その他	6,019	6,127
営業外費用合計	34,651	32,359
経常利益	207,473	390,032
特別利益		
助成金収入	17,779	2,325
補助金収入	-	163,333
その他	2,677	1,668
特別利益合計	20,456	167,327
特別損失		
固定資産圧縮損	-	162,421
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	68,245	-
その他	3,113	5,710
特別損失合計	71,359	168,132
税金等調整前四半期純利益	156,570	389,228
法人税、住民税及び事業税	10,975	8,297
法人税等調整額	10,275	38,613
法人税等合計	21,250	46,910
少数株主損益調整前四半期純利益	135,320	342,317
少数株主利益又は少数株主損失 ()	772	857
四半期純利益	134,547	343,174

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	135,320	342,317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60,142	30,962
繰延ヘッジ損益	13,207	11,191
為替換算調整勘定	1,381	56,857
その他の包括利益合計	71,967	14,703
四半期包括利益	63,353	357,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,580	357,905
少数株主に係る四半期包括利益	772	884

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(連結の範囲の重要な変更) 連結子会社であった株式会社サカイ電子は、全株式を平成23年4月1日付で譲渡したことにより、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しています。 連結子会社であった株式会社サバエテックスは、連結子会社であるマルイテキスタイル株式会社と平成23年4月1日付で合併したことにより、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しています。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しています。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間において、国庫補助金等の受入により、機械装置について162,421千円の圧縮記帳を行いました。なお、次の圧縮記帳額が取得原価からそれぞれ控除されています。

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
建物	62,429千円	62,429千円
機械装置	15,695千円	178,116千円
土地	103,888千円	103,888千円

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る減価償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
減価償却費	200,169千円	214,842千円
負ののれんの償却額	461千円	94千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	計				
売上高 外部顧客への売上高	2,909,139	1,034,683	3,943,823	695,952	4,639,775	-	4,639,775
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5,631	5,304	10,936	127,339	138,276	138,276	-
計	2,914,771	1,039,988	3,954,760	823,291	4,778,052	138,276	4,639,775
セグメント利益	134,378	45,392	179,770	14,471	194,242	4,403	198,646

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、電子機器事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額4,403千円は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	計				
売上高 外部顧客への売上高	3,027,703	1,324,201	4,351,905	659,108	5,011,014	-	5,011,014
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,636	3,520	5,156	150,746	155,902	155,902	-
計	3,029,339	1,327,721	4,357,061	809,854	5,166,916	155,902	5,011,014
セグメント利益	188,502	124,265	312,767	23,299	336,066	9,755	345,822

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、電子機器事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額9,755千円は、セグメント間取引消去4,191千円、各報告セグメントに配分していない全社費用5,563千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の調整額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	2円8銭	5円32銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	134,547	343,174
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	134,547	343,174
普通株式の期中平均株式数(千株)	64,544	64,539

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年8月11日

サカイオーベックス株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岡田 芳明 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 垂井 健 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサカイオーベックス株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サカイオーベックス株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しています。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。